

東海大学文理融合学部紀要
2022 年度投稿案内

1. 投稿方法

(1) 原稿締切日

2022 年 10 月 31 日(月)17:00 (厳守・これ以降受付出来ません。)

(2) 提出書類

原稿(PDF ファイルと Microsoft Word).

論文受付票(論文受付票 2022 ファイル使用のこと).

(3) E-mail による添付ファイルで投稿のこと。

投稿受付後、紀要委員会は投稿者に受付の連絡を E-mail にて行う。

E-mail: katoj@tokai.ac.jp (紀要委員会事務局・加藤)

2. 投稿論文の分類

(1) 論文(原著論文で、他学会誌などに未発表のもの)

(2) 研究ノート(独創性は無くても学術研究に寄与するもの)

(3) 研究資料(学術研究に寄与するもの)

(4) 翻訳(学術論文等の翻訳)

3. 著者(投稿資格)

(1) 文理融合学部所属の助教以上(専任・特任教職員の別を問わず)。

(2) 文理融合学部紀要への掲載を希望する他の学部等所属の助教以上(専任・特任教職員の別を問わず)。

ただし、(1)、(2)の場合、本学の大学院院生、学部学生、研究生、研修生、研究員及び技術職員、卒業生、さらには学外の共同研究者を含むことはさしつかえない。

(3) 東海大学を定年退職した教職員

(4) その他、紀要委員会で認められたもの。

(5) 連名は原則として筆頭執筆者を含め 6 名以内とする。

4. 審査

(1) 論文

① 提出論文の審査は、紀要委員会の議を経て査読者に依頼する。

② 査読者は原則として学外者をあてる。

③ 掲載の可否判断の審査は紀要委員会が査読者の査読結果に基づいて行う。研究論文は査読者の査読結果に基づいて、A(投稿原稿のまま掲載可)、B(修正必要で再査読なし)、C(修正必要で再査読あり)、D(掲載不可)の審査判定をする。

④ 修正の必要のある論文(B及びC)については、著者に修正を要求する。Cについては、修正された論文を再度査読し、掲載可否を判定する。修正の内容によっては、次号以下への掲載を要求することがある。

(2) 研究ノート (3) 研究資料 (4) 翻訳

査読は行わない。ただし、投稿規定に合致しない不備な点がある場合は、紀要委員会より原稿の修正を要請することがある。

5. 掲載決定後の正式原稿提出について

掲載決定後の正式原稿は Word と PDF の両方とする。

投稿原稿が特殊な内容を含む場合、次のような指示を行うことがある。

(a) 画像等の関係で容量が大きい場合、CD あるいは USB メモリの提出を求める。

(b) 特殊なソフトでの作成の場合、あるいは正式原稿提出で問題が生じた場合、執筆者と相談して提出方法を検討する。

6. 発行と配布

発行は Web によるものとする。

7. その他：

(1)原稿は、「東海大学文理融合学部紀要原稿執筆要領」にしたがって作成してください。